

## 奈良市第5次総合計画後期推進方針策定支援業務 落札者決定基準

## 1. 評価の方法及び落札者の決定方法

本件は、第5次総合計画後期推進方針の策定支援を行う業務であり、その履行には幅広い行政分野に対応できる実績及び体制が必要となる。このことから、価格のみでなく、受託事業実施のための体制や業務実績を考慮し、本市にとって最も有利な者を落札者とする総合評価一般競争入札を採用する。

「技術点」及び「価格点」を合計した「総合点」が最も高い者を落札者とし、「技術点」と「価格点」のバランスは11対4とする。入札者の「総合点」は、「技術点」と「価格点」の単純な和となる。

なお、本市職員の中から指名する審査員が、提案内容の評価及び採点を行う。

総合点 (150点)	=	技術点 (110点)	+	価格点 (40点)
------------	---	------------	---	-----------

## 2. 技術評価

(1) 技術評価として、「提案書」及び「プレゼンテーション」を総合的に判断する。審査員及び評価項目を定め、提案内容の評価して「技術点」を与える。

	審査工程	内容	点数
1	提案書審査	<ul style="list-style-type: none"> <li>審査員ごとに提案書を審査する。業務実績は、事務局にて審査する。</li> <li>技術点全体の約77%を配点する。</li> </ul>	85点
2	プレゼンテーション審査	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案書審査を補完する目的で行う。</li> <li>プレゼン審査は審査員が行う。</li> <li>技術点全体の約23%を配分する。</li> </ul>	25点
合計			110点

(2) 技術評価は、採点基準に基づいて審査員が採点をし、その平均として算出する。※小数点以下は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで記載する。

(3) 技術評価の平均点が60点未満の場合は、失格となる。

## 3. 価格評価

本入札の価格評価は、基礎点と入札額に応じた配点を合算して算出する。

価格点 (40点)	=	基礎点 (10点)	+	比較点30点	×	(1 - 入札額 / 予定価格)
-----------	---	-----------	---	--------	---	------------------

※ 基礎点は、入札額が予定価格の範囲内である場合に、価格点の約25%を配点する。なお、入札額が予定価格を超える場合は、失格となる。

※ 価格点の小数点以下は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで記載する。

#### 4. 提案書審査

提案書審査項目と配点は、以下のとおりとする。

区 分		採点基準	配 点	
技 術 評 価	提案書審査	(1) 実績 ・様式第3号「業務経歴書」（令和元年8月1日～令和7年3月31日）に記載の「人口20万人以上の市区が発注した総合計画策定業務の受託実績」	20	85
		(2) 体制 ・受託業務の配置予定人員、実施体制	25	
		(3) 提案事項 ・社会情勢、奈良市の現状や将来見通し、基礎データの分析について、具体的にどのようなデータを、どのような問題設定のもとで集め分析するかが提案されているか。 ・より多様な市民の意見を取り入れる方法など、策定過程における市民参画の手法について、効果的かつ効率的な提案がされているか。また、市民の参画意識を高める工夫が盛り込まれているか。	40	

#### 5. プレゼンテーション審査

##### (1) プレゼンテーション審査の考え方

- ・プレゼンテーションは、応札事業者のプロジェクト責任者もしくはプロジェクトリーダーが行う。
- ・プレゼンテーション審査は審査員が行うものとし、提案書を補完する目的で行うため、提案書の不明点に関する質問が行えるように準備する。

##### (2) プレゼンテーション審査の評価項目

プレゼンテーション審査項目は、以下のとおりである。

No	評価の視点	評価内容	配点
1	提案書との整合性	プレゼン内容が、提案書の内容と整合がとれているか。	5
2	論理性（一貫性）	説明が論理性を持ってなされているか。 説明にブレがなく、一貫しているか。	5
3	本市への適合度	本市のニーズに適合しているか。	5
4	質疑応答における回答の明確性	質問に対する回答が、明確かつ適切か。 わかりやすいものであるか。	5
5	取組姿勢	本市と協力してプロジェクトを成功に導く意思が確認できるか。 事業者側の体制に一体性があり、しっかりと業務に取り組むことができると認められるか。	5